

仕分け結果に対する町の方針

事業名	子育て支援事業 (子育て支援センター)	第1班
		第7事業

仕分け結果	仕分け人チーム	結果	寒川町(要改善)	【主なコメント】 ●管理費補助から事業費補助への転換が必要。 ●子育て支援は必要であるが、現状の事業に多額の補助金を支出するのは無駄が多い。 ●強いて行政が間に入る必然性が解らない。今のままでは、普及しないと感じた。 ●直営の方が、費用や内容が良くなる。保育園や図書館や体育館なども活かして受け皿を作るべき。 ●民間委託も視野に入れ委託方法を検討すべき。 ●利用者、さらに対象の子どもがいる家庭に、「どんなサービスを望んでいるのか」のアンケートを実施。本当の意味での子育て支援実施に向かって改善していただきたい。現行の子育て支援センターが対象の母親のニーズを満たしているか現状把握から始めて欲しい。現行施設では、3階にあることも問題では。
		不要	0	
		民間	2	
		国・県・広域	0	
		寒川町(要改善)	3	
		寒川町(現行どおり)	0	
	町民判定人	結果	寒川町(要改善)	【主なコメント】 ●委託に終始するならば、民間でやるべき。 ●事業担当者に事業への義務感覚が見られない。NPOにまかせた方がよい。別に屋内の遊び場所、集合場所を設けることも、考えられる。(南部・北部の図書室との共用など) ●事業内容を町民にもっと積極的にPRすべき。もっと活用率を高める要あり。(利用者が少なすぎる) ●子育て支援センターは、共働きができるまでのサポート機能であって欲しい。委託に当たっては、入札方式を取り入れるべき。対象者のニーズを把握していないのでは。
		不要	0	
		民間	3	
		国・県・広域	0	
		寒川町(要改善)	6	
		寒川町(現行どおり)	0	

町の方針	寒川町(要改善)
<p>・子育て支援センターは、育児中の母・父親のリフレッシュや、育児などに悩みを抱えた親御さんの状態を見守り、支援するためには、カリキュラム形式ではなく、フリースペースを中心とした運営が適切であると考え、今後もフリースペースを提供してまいります。</p> <p>・利用状況の実態を把握する仕組みづくりの検討と、利用者アンケートを23年度中に実施し、24年度から利用者のニーズにあった事業内容を検討してまいります。</p> <p>・契約方法については、事業の性質上、状況に応じた支援や働きかけを子どもや保護者に行って行く必要があります。最も重要な資源は、業務に当たる担当者の経験に基づく実践力であるため、当該事業の目的を達成するためには、現在の委託先にすることがより良い子育て支援に継がると考え、引き続き随意契約とします。</p>	